



Vol.23~~2013.01

はじめまして。前任の松尾先輩と堀先輩からメルマガ委員を受け継ぎ、今月号からは 57 期の武藤と宮森が担当することになりました。現役部員の活動の様子が少しでも伝わるよう、精一杯頑張ります。どうぞよろしくお願ひします。お忙しいとは思ひますが、少しでも目を通して頂ければ幸ひです。

今月号は山小屋 W、秋合宿、L 養 I、クロカンと盛りだくさんの内容となっております。それでは部員たちの感想をどうぞ！

== Index =====

- 山小屋 W ～オッチェンが一人増えました～
- 秋合宿 ～雨ニモマケズ、風ニモマケズ、キツイ上り坂ニモマケズ～
- L 養 I ～いざ、冬の比良山へ～
- クロカンレース ～あれ！？あの人まだゴールしてなかったの??～
- アンケート
- メルマガ委員紹介

=====

2012/10/21

山小屋 W

～オッチェンが一人増えました～

今年の山小屋合宿では、OB さんとの交流を楽しみながら、山小屋の修繕、秋の比良山を堪能することができました。今回は最年長で 37 期の後藤さんが、参加してくださいました。

また、今回から 1 回生の堀部君が新しくワンゲルに加わってくれました。

合宿中はワンゲルのみならず、学生生活のいろいろなお話を OB さんに聞かせていただき、大変有意義な時間を過ごすことができました。来年の山小屋合宿にはぜひご参加くだ

さい。

(文責：宮森)

---

お天気もよく秋山を十分堪能できました。初めて会う OB さん方と一緒に楽しく山行しながら新歓合宿ぶりの暮雪山荘に辿りつき、まずは大量に布団を干しました。暮雪山荘の周りの木と木の間には張り巡らされた細引きに大量の布団が引っかかっている光景はどこかのちょっとした集落みたいでした。次の日は木道整備組や倉庫整理組に分かれて楽しく作業を進めました。毎年のこうしたお掃除の積み重ねで暮雪山荘がきれいに維持されているんだなと思いました。

(57期 法1 桑原真穂)

山小屋は個人的に楽しみにしていた合宿だったので、無事行程を終えられて良かったです。普段行わないような小屋の修繕、OB さんとの久しぶりの再会など貴重な経験ができました。次期 L として色々準備をしている時期だったので、OB さんとの会話は非常に有意義なものになりました。

(56期 理2 河相圭亮)



---

2012/11/01～04

秋合宿

～雨ニモマケズ、風ニモマケズ、キツイ上り坂ニモマケズ～

---

今年の秋合宿は、山陰チャリ（天橋立～鳥取砂丘）、南紀チャリ（白浜～新宮）、九州チャリ（別府～日向）、五島列島ロード（有川港～奈良尾港・福江港～大瀬崎断崖）の4 partyに分かれて行きました。1回生は初めてのチャリ合宿です。

僕は山陰チャリに参加したのですが、向かい風や激しいアップダウンの繰り返しで、予想以上に大変な合宿でした。しかし、山では味わえない海の幸を堪能しましたし、山陰海岸の岩々や荒波、砂浜の織り成す自然の美しさに終始感動しっぱなしでした。また、自分の力で200km以上の距離を走り切った時の達成感は、登山の時のそれとはまた違った良さ

があり、またチャリ合宿に参加したいと思いました。

他の Party もそれぞれ合宿を満喫した声が届いていますよ！

(文責：武藤)

---

●南紀チャリ (白浜～潮岬～紀伊勝浦～新宮)



今回が初めてのチャリ合宿。そこで自分が経験したのは、風を切って走る圧倒的な爽快感。上り坂を、足が悲鳴を上げる中も漕ぎ続け、ついにピークに達した時のあの達成感。「ああ、俺はこのために生きていたんだ」という心の底から湧き上がる生の喜び。山とはまた違った感動をこれでもかというほど味わえた。

こうして、ほぼ全ての名所を巡る自分達の

旅は、大満足のまま終了したのであった。

追記：唯一の汚点は、記憶の彼方へと忘れ去ることにした。

(57期 理1 丸山大貴)

---

●山陰チャリ (天橋立～経ヶ岬～城崎温泉～鳥取砂丘)

天橋立からスタートし、城崎を経てゴールの鳥取砂丘まで海沿いの道を走りました。心配していた天気も、初日の最初の行程こそ雨は降ったものの、なんとか持ちこたえてくれました。荒々しい景色や穏やかな景色など日本海のいろいろな一面を見ることができ、海沿いの道を走るのもいいなと思いました。城崎温泉でまったり一夜を過ごしたり、鳥取砂丘で青春？を味わったりと、合宿的にもメンバー的にも密度は濃いものでした。



(56期 工2 出口亮)

---

●九州チャリ (別府～阿蘇～高千穂～日向)

---



今回の合宿は阿蘇に自転車で行ってきました。小学校二年生以来、久しぶりに飛行機に乗って熊本に行き、阿蘇内牧、高千穂、そして、宮崎に下るというコースでした。阿蘇の朝は寒く、車に氷が張っていて、驚きました。また、その車を内牧の温泉の湯で溶かすという地元ならではの光景が見れて、おもしろかったです。阿蘇の外輪を自転車で走るという貴重な体験ができたので非常に楽しかったです。自転車合宿の面白

みがすべて詰まった合宿だと思いました。

(56期 経2 増井慎一)

---

#### ●五島列島ロード (有川港～奈良尾港・福江港～大瀬崎断崖)

---

今回は長崎の五島列島を3日間かけて歩きました。一日約30キロ、総歩行距離は100キロを超えました。天候にも恵まれ、島に点在する教会やビーチに立ち寄りながら歩くことができました。毎回宿泊施設での睡眠であったので、こんなに甘やかされていいのかという思いもありました。が、最終日、最終目的地である大瀬崎の灯台に向かう途中で雨が降ってきました。フェリ



ーの出航時間というリミットもあり、それまで甘やかされていた私たちは心が折れそうになりました。しかし、なんとか灯台へたどり着くことができ、なんとも言えない達成感を味わうことができました。このような劇的なラストを演出してくれたコースを企画していただいた皆さんに感謝しています。

(57期 理1 堀部和也)

---

2012/11/23～24

L 養 I

～いざ、冬の比良山へ～

---

今回のL養Iでは一回生は「読図力、ワーク、体力」の3つを向上させることを目標に合宿を行いました。11月下旬の比良山は恐ろしく寒く、雪も降っていました。行程もこれまでの合宿よりも長くしんどいものでした。しかし、下山した時の達成感はこのまでのどの合宿よりも大きく、満足感のある合宿となりました。(疲労も大きかったですけど・・・)

(文責：宮森)

---

舞台は比良山でした。朝の比良は所々雲をかぶり、神々しいばかりでした。この時、僕は比良を愛していました。

今回の合宿の目的は、読図力の向上でありました。そのために、山行中に現在地をランダムで答えさせる、という訓練を行いました。地図を常に見ておかなければならなかったのです。そのこともあってのことだと思いますが、すごくしんどかったです。それに加えて、30キロの歩荷と、先の見えない九十九折れがあったので、疲労は合宿前に想像したものを超えていました。そう、その時、僕はもはや比良を愛する対象として見ていませんでした。しかし、今回の合宿で学んだことは多かったと思います。読図の仕方や、コースリーの務め方はもちろん、外ワークをきっちり行う大切さを身に染みて感じる事ができました。

武奈から望む琵琶湖は、厚い雲の隙間から伸びた太陽の光に照らされていました。有意義な合宿であったと、武奈に立ちながら思いました。

(57期 法1 金田宗和)

—「撒収天がめちゃくちゃ寒くて、死にました 汗」(by 笹原さん ワンゲルが誇るポケモンマスターより)

初めての食当でしたが、僕の努力もあってローリエを使ったオリジナルメニュー(ビーフストログノフ)は大好評でした!(^^)! 「ちなみに、ビーフストログノフじゃなくてただのビーフシチューなww」(by 堀部 新1回生)

河相さんの名言「おまえの食当、まんま林のやんけ!!! (一一)」  
とゆうことで、林さんの食当を受け継ぎます、そして瀧沢さん(4回生)を超えます!

(57期 文1 大塚駿)

今回で9回目の比良。新歓の坊村からの登りではつづら折れの恐ろしさを、2次予備では灼熱山行を、冬PWでは吹雪を、L養IIでは雨と過度の疲労という二重苦を教えてくれた比良山ですが、今回も新しい姿を見せてくれました。今年度の合宿は天気にも恵まれてばかりでしたが、今回のL養であっても快晴の中、武奈ヶ岳ではささやかながら樹氷を見ることができました。このような恵まれた環境の中、難なくL養は終わったわけですが、次期Lとして、仕事をこなすことができるように、努力していきたいと思えます。

(56期 文2 林貴哉)

---

2012/12/02

クロカンレース

～あれ！？あの人まだゴールしてなかったの??～

---

—「間違っって奈良県側に下山してしまった」「道に迷いまくって同じ人を何回も抜かした」など、様々な道迷いエピソードを先輩から聞かされて挑んだ初クロカンレース。最初は、あまりの距離の長さで完走できる自信がありませんでした。どこまで走ってもゴールが近づかないし、足は痛くなる... 途中で何度諦めかけたことか。しかし、後半になってかなり疲れているはずなのに、なぜかまだまだ走れる！まだこんなに力が残っていたのかと、自分でも驚きでした。これも OB・OG さん方の差し入れのおかげだと思います。結果、無事に走り切ることができました。が、その時にはもう足はガクガク。膝が笑うとはこのことですね。

今年もミスコースした人がいて途中で順位の変動があり、人によって明暗が分かれたようです。途中で僕を颯爽と抜かしていった先輩がいたのですが、なぜか僕が先にゴールしていました（笑）。体力だけでは勝負が決まらないところにクロカンの面白さがあると思いました。

今大会でもたくさんの OB・OG さんに大会の運営をサポートして頂きました。また、様々な豪華景品を贈っていただきました。この場を借りてお礼申し上げますとともに、来年度もご協力よろしく願いいたします。

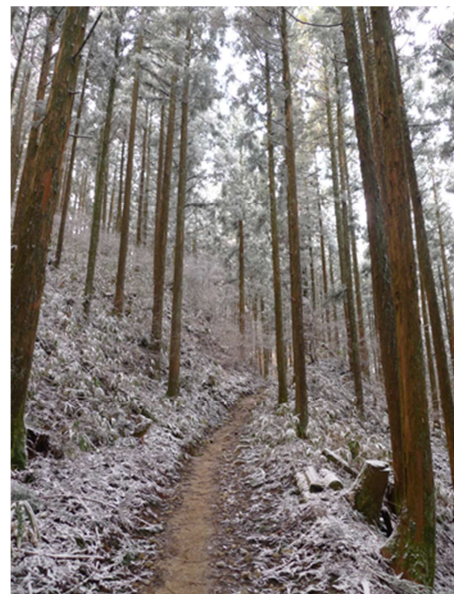
(文責：武藤)

---

いつもは部活として競争することがないので、クロカンは以前からとても気になっていた行事の1つでした。

40 キロという距離、しかも山道ということで、完走できるかとても不安でしたが、終わってみるとあっという間で、普段とは違った山の楽しみ方ができて良かったと思います。

途中で全身が痺れてリタイアすることも考えましたが、なんとか耐え抜き、結果、総合3位+中西杯を頂くことができました。さらに賞品も普段買うことを



躊躇うような豪華なものばかりいただき、本当に嬉しい限りです。OB,OG さんの方々、様々な形で協力して頂いてありがとうございました！

あと、クロカンに参加された OB さんの体力に圧倒されました(笑)

(57期 経1 中澤茂樹)

体力に自信がない僕の今年の目標はとにかく完走することでした。早くなくてもいいからゴールまで到着すること、それだけでした。去年は雪で葛城山までになってしまったのですが正直なところ、もう走らなくてもええんか、よかった、と胸をなでおろすと同時に来年はどうなんのやろうか、自分は大丈夫なんやろうか、完走できるのか、とも思っていました。来るクロカンへの不安は日が迫るにつれて増していきましたが、今年完走してみると大きな達成感に包まれ、来年も走りたいと思う自分がいました。来年はもっと上位を狙いたいです。

今回怪我もなく完走でき、またクロカンを楽しめたのは OB さん、OG さんのご尽力があったからこそだと思います。本当にありがとうございました。

(56期 工2 堀裕貴)

去年のクロカンでは雪で途中までしか走れなかったのが今年の目標はまず完走。また今年の1回生は全体的に体力があるので、あわよくば中位を狙うつもりでした。

レース開始後、最初のロードから予想通り先輩と後輩に差をつけられたわけですが、今回はストックを用意しており金剛山前からは扱いにも慣れ、歩くペースを上げることができました。意外にも、登りの歩きだけを重視しても良いタイムが出るということが今回のレースでの大きな発見です。その結果、二上山の雄岳の時点で最下位であった順位も金剛山展望台に着いた時には10位圏内へと突入していました。

しかしその後、地図にない太い林道に突っ込み、ルート外のかかなり深い沢底まで降りてしまい、8年間の山活動史上最も恐ろしい思いをするはめに、、、(エアリアの地形が薄くて地形が見えない) なんとか復帰はしたものの、かなり順位を落としてしまいました。レースを終えたとき、順位は最下位あたりまで落ちていましたが、命は落とさずに済んで本当によかったという安心感で一杯でした。

ヒヤリとするようなハプニングもありましたが、今年のクロカンは無事に(?)コースを完走でき、自分の精神も鍛えられ、さらに天気にも恵まれ、ワンゲルでの素晴らしい思い出の1つになりました。来年はペース配分を覚えた後輩たちに負けないことが第一目標になりそうです。

(56期 工2 平井皓基)

=====

気づけばもう1月。時が経つのはあっという間ですね。入部したのがついこの前のこと

のように思えます。先日 L 養 I も経験し、もうすぐ上回生だという意識も日に日に増してきました。部内ではすでに来年の新入生勧誘のことも話題に上っています。そうそう、新入生勧誘といえば、重要な問題があります。そうです、それはメッチェンの獲得です！実は今深刻な状況に陥っており、来年入ってくれないと現役はオッチェンオンリーとなってしまいます(汗) それだけは避けたいので、57期一同でいろいろ策を練っている状況です。そこで、今回のアンケートはこの内容にも関連して、経験豊富な皆さんに『メッチェンに おすすめの山』を聞きたいと思います！「登山」というと、世間一般ではどうしても男の世界だと思われがちですが、「この山なら女の子でも山の素晴らしさを分かってもらいやすい！」という山を募集します。よろしければその山の魅力やエピソードも教えてくださいね。それでは回答お待ちしております！

### 【メルマガ委員紹介】

さてさて、最後になりましたが、今回は初回ということで僕たちメルマガ委員の紹介を簡単にしたいと思います。同期の人たちに武藤・宮森とはどんな人なのか、1人1言ずつ書いてもらいました。

~~~~~

#### ◆宮森 由布里 (みやもり ゆうり)

理学部物理学科

広島県廿日市市出身

- ・困ったときはよく下宿先に泊めてくれる
- ・気前がよくてサイコーな優男です
- ・素直で人懐っこい笑顔の持ち主。きっと彼は先輩にも後輩にも好かれるはず。癒し系ワングラー！
- ・なんでもそつなくこなします。そして、良いやつです。出来た男です。
- ・広島を愛する漢



~~~~~

#### ◆武藤 智太朗 (むとう ともたろう)

基礎工学部システム科学科

岐阜県大垣市出身

- ・気象図書くのうまい
- ・厳しくて、辛くて、苦しいことが大好きな、どMです笑





- ・落ち着いていていつも話を締めしてくれる人。彼がいる限り 57 期は安泰！ザ・ワンゲラー
- ・宇宙工学に興味があります。ただ、古代文字にも興味があります。無限の好奇心を持つ、ハジけた男です。
- ・実は大塚と仲がいい

~~~~~

……僕たちのイメージは掴んでいただけでしょうか！？拙い出来になるかもしれませんが、2人協力して責任をもってメルマガをやっていくので、今後1年間お付き合いよろしくをお願いします。

次回は冬 PW の報告や、次期 Leaders の紹介などをしていきたいと思います。それでは2月号でお会いしましょう！

アンケートページ：<http://www.ouwv54.org/enquete/enqform1301.html>

ギャラリーページ：<http://www.ouwv54.org/mailmagazine/gallery1301.html>